

病院の実力「災害拠点病院」

医療機関別2025年6月現在

(読売新聞調べ)

医療機関名	日本DMAT隊員数	数日本DMAT派遣回※	制震または免震構造の有無◇	通常比の発電容量(単位・割)
埼玉				
さいたま赤十字	25	3	①	8
独協医大埼玉医療セ	17	1	③	6
川口市立医療セ	16	3	①	6
埼玉医大国際医療セ	16	3	②	6
自治医大さいたま医療セ	16	2	②	6
北里大メディカルセ	15	2	③	6
深谷赤十字	14	4	②	6
防衛医大	12	4	②	8
県立小児医療セ	12	1	②	10
草加市立	11	2	①	6
さいたま市立	11	1	①	8
上尾中央総合	11	1	①	2
埼玉医大	11	1	③	15
行田総合	9	3	③	7
戸田中央総合	9	1	②	6
済生会川口総合	9	1	③	4
さいたま市民医療セ	7	7	①	6
群馬				
国・高崎総合医療セ	33	7	①	6
太田記念	26	10	①	6
利根中央	23	7	③	8
伊勢崎市民	22	6	③	6
国・渋川医療セ	14	4	②	4
済生会前橋	12	5	③	6
公立富岡総合	12	1	③	7
日高	11	1	①	10
桐生厚生総合	10	2	③	8
原町赤十字	8	4	①	6
千葉				
日本医大千葉北総	25	15	③	8
千葉大	24	7	①	6
順天堂大浦安	18	3	②	8
松戸市立総合医療セ	17	1	①	6
君津中央	16	7	②	10
成田赤十字	16	1	③	6
船橋市立医療セ	15	5	③	10
亀田総合	15	1	②	6～7
国保旭中央	14	2	②	6
慈恵医大柏	13	7	③	7
千葉西総合	12	3	①	6
千葉労災	11	4	①	6
国際医療福祉大成田	11	1	②	10
東邦大佐倉	10	3	③	5
済生会習志野	10	2	③	6
東京歯科大市川総合	8	2	③	6
県循環器病セ	8	2	③	6
東京女子医大八千代医療セ	7	5	①	6

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター

※16年4月の熊本地震～24年12月末

◇①全てあり②一部あり③耐震構造のみ